

# 熊野町のいしぶみとたざね 第12回

## ～ 高橋新六先生の碑 ～



▲ 高橋 新六 表先生の碑 (高さ: 155cm、横: 60cm)



**高橋新六先生の碑 (大歳原)**  
大正11年5月建立

出来庭地区には、高橋新六先生の碑があります。その石碑の裏には、『先生は名を新六、姓を高橋といい、(諱を新六、高橋を氏といい) 嘉永4年6月、広島に生まれました。もとは三上という姓で、広島藩の士族の家柄であった。幼いころから賢く、学問を好んで、早くから評判だった。明治9年1月、奥海田村圭運小学校の教員となる。11月、熊野村の高橋氏の養子となり、その家を継ぐ。』

翌年6月、熊野村立中出来小学校に転任し、仁保島大家吉浦、各小学校で勤めた後、佐伯郡菅沢尋常小学校長となった。明治43年4月に退職し帰郷。教職にあつた34年の間、一貫して丁寧な教え続けた。先生の教えを受けて世に出た人は、今では千人を数え、中には、有名な人物も少なくない。先生は、大正11年1月に病で亡くなったが、その恩恵は余りに大きく、活躍は尽きることがない。ここに門下同人がその徳を称えて碑を建てる。先生の徳を石に刻し、いつまでもながく伝える。従五位勲四等天野雨石撰文 白桜居士 荻野修書』と漢文で刻まれています。

※この碑は、もと出来区(出来庭地区)公会堂境内にありましたが、公会堂整備の際、現在の高橋氏墓地傍らに移されています。

取材/民法・時光・片川・沖田



山野千佳子議員

## Q 幼保小中教育推進協議会

A 今後は幼稚園・保育園とも連携を深めたい。  
(藤森教育部長)

Q 昨年からの活動内容と課題はどうか。

A

幼保小中教育推進協議会は、熊野町における幼稚園・保育所、小学校及び中学校の連携を推進することを目的として設置し、これまで4回の会議を実施した。第1回の会議では、小・中学校と教育委員会のみで実施したが、第2回以降は、町内3幼稚園、4保育園も出席し、小学校の子どもたちの参観や協議を行った。

この度改訂された「幼稚園教育要領」では、「幼稚園と小学校のつながり」や「幼稚園と保育所とのつながり」等が重視されており、「保育指針」においても「小学校との連携」等が重視されている。これらのことから、本町では、小中学校連携のみならず、今後は幼稚園・保育園とも連携を深めたいと考えている。

## 議会・委員会活動等紹介

■「名誉町村議会議員」の称号を授与

昭和38年から50年以上の永きにわたり、熊野町議会議員として、卓越した識見をもって地方自治の振興発展に貢献されて来られた功績が称えられ、全国町村議会議長会から南田議員に、「名誉町村議会議員」の称号が贈られた。



南田 秀夫 議員



佛圓 大源 議員



尺田 公造 議員

■自治功労者表彰を受賞

2月20日、平成25年度自治功労者等表彰式が開催された。町議会議員として永年にわたり在職し、地域振興と住民自治の向上に貢献されて来られた、佛圓大源議員と尺田公造議員が、議員在職30年以上として、それぞれ広島県町議会議長会会長から表彰を受けられた。



▲加来 耕三氏による講演

■広島県町議会研修会  
自治功労者表彰終了後、「広島県町議会議員研修会」が開催され、多数の議員が参加した。中央大学名誉教授今村都南雄氏による「道州制推進基本法案をめぐる動向」と歴史家・作家の加来耕三氏による「歴史に見るリーダーの条件」について、講演を受けた。